

1 園目標

身体をしっかり動かして、感性豊かに・元気で意欲のあるこども 自分の思いが素直に表現できるこども お友達と楽しく遊ぶことが好きなこども
--

2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	毎日の生活の中で、個々の成長に合わせてながら、季節を感じる散歩に出かけたり、室内では、リズムや肋木・斜面等設置し、こどもの身体づくりが楽しくできるような取り組みをしてきました。野菜を育て、クッキングをしたり、食べることへの興味関心を広げました。5歳児3園交流をし、関係を深めました。
職員	園長・主任が代わったこともあり、職員同士の関係を深めるために、話し合う場を持ったたり、保育内容の見直しや、こどもの個々の発達を見つめることを大事にしていきました。くぬぎ会として、研修会を行い、「身体づくり」の実践報告を基に、深めていき、日々の保育に反映できました。
保護者	園の様子を明確に知ってもらい、子どもの成長を共に喜びあえる関係を築けるように意識して伝えた。また、保護者会とも密に連絡を取り合い、保護者会や園運営が、子どもたちのためになるように、連携がとれた。保育制度改定（幼児教育・保育の無償化・幼児の副食費徴収）の周知と理解をすすめました。
園全体	6月に近隣で交番襲撃事件があったり、台風で暴風警報が出されたので、防災意識を高め、災害に備えた。施設の老朽化がみられ、設備の点検なども意識して行うようにした。子どもたちはもちろん、保護者が安心して預けられるように、ヒヤリハットや事故報告の共有を行い、安全に過ごせるように心がけました。

3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、子どもたちの発達・成長に必要な手立てを工夫しながら保育を組み立てていきます。
職員	職員間で連携を取り、こども一人ひとりが、健やかに成長できるように保育の質の向上を目指します。法人勉強会での実践報告「0歳児の育ち」に重点を置き環境の見直しや・成長発達の学習に努めます。
園全体	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、各行事を検討し、子どもの成長発達にとって大事なこと、大切にしたいことは何かをしっかりと見つめていきます。施設の老朽化部分を確認し、安全な環境づくりをします。
保護者	新型コロナウイルス感染症対策での行事の変更や、送迎の仕方など変更のある所は、誰もがわかりやすく伝えていきます。保護者会活動も、集まってが難しいが、園との連携も取れるようにしていきます。